

令和8年度 第1回 浜松市立中郡中学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2026年4月28日(火) 14:00~16:10
2. 開催場所 浜松市立中郡中学校 会議室
3. 出席委員 高井 昭、本間 義章、杉本 泉、川島 博美、村松 康乃、松本 英也
4. 欠席委員 河合 洋子、小杉 敬治郎、山下 功
5. オブザーバー 太箸 隼斗(積志協働センター)
6. 学校連携コーディネーター 梅田 瞳
7. 学校 秋月 真也(校長)、川合 公孝(教頭)、鈴木 智香(教務主任)、堀野 直子(1学年主任)、飯田 宣子(2学年主任)、野田 潤子(3学年主任)、中井 浩行(大樹学級主任)、池野 誠(生徒指導主事)、佐藤 奈帆(CS ディレクター)
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 CS ディレクター 佐藤 奈帆
10. 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、本間委員から高井委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

- (1) 令和8年度 学校運営の基本方針の概要説明
- (2) 学校いじめ防止基本方針に関すること
- (3) 学校運営協議会の自己目標について
- (4) 夢育やらまいか事業(CS 加算分)に対する意見書について

12. 会議記録

司会の川合教頭から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和8年度学校運営の基本方針

議長の指示により、秋月校長から、別紙資料に基づき、学校運営基本方針の概要説明があり、委員全員の承認を得た。また、別紙資料に基づき、教職員の業務量管理・健康確保措置に関しての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・朝の旗振り中、小学生はまだ緊張しているのか挨拶しない子もいるが、中学生は皆挨拶してくれる。中郡中の生徒が、線路にあった石を取り除き、駅員に渡したという良い話も聞いた。(本間委員)
- ・中郡中としては、先生方の負担を減らすために、どんなことができるのか試行錯誤する必要がある。生徒に対して何の支援が必要なのか、事務的な面では何が必要なのか。例えば、電話対応の終了時間を繰り上げる話が小学校では出た。何に力を貸して欲しいのか、先生方からの提案が欲しい。(川島委員)
- ・今年度は部活動の終了時間を早めた。電話は終了時刻の30分後に設定している。(川合教頭)
- ・先生の始業は8時とのことだが、保護者対応等で早い時間に昇降口を開けざるを得ない。(松本委員)
- ・中郡中は今年から昇降口の解錠を7時40分としている。(川合教頭)
- ・児童生徒の補導に関してだが、生徒が問題を起こす前に、問題に対して早期の解決をしてもらえれば地域での対応は必要ないのでは。(高井委員)
- ・万引きや補導された際の連絡はまず警察に行く。以前は学校に連絡が来ることもあったが、記載の通

- り、問題に対する対応は学校ではなく保護者。(杉本委員)
- ・先生方のストレスチェックは行っているのか。(本間委員)
 - ・職員も、必要ならば産業医と面談を行っている。(秋月校長)
 - ・子ども達にも影響が出るので、先生方のストレスが5%以下ではなく0%になるといい。(本間委員)
 - ・資料の4(地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等)について、学校支援コーディネーターの梅田さんに大いに協力していただきたい。過剰な苦情は、先生が抱え込まないよう地域にも連絡をしてほしい。(高井委員)
 - ・問題に対しての責任を、ここまでは学校、ここからは保護者、というように事前に線引きすることはいい方法だと思う。(松本委員)
 - ・保護者も交えて、グレーゾーンに対する対応をどうするか考えることが必要。(川島委員)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校いじめ防止基本方針に関すること

議長の指示により、生徒指導主事から、別紙資料に基づき、学校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・学期ごとの全員面談とは具体的にはどのような感じか。(杉本委員)
- ・生徒と先生の二者面談を全生徒実施していく。(生徒指導主事)
- ・短縮日課等の日を利用して、話したい子や話が必要な子だけでなく、全員から話を聞く時間を設けることにした。(教務主任)
- ・いじめ事案は生徒同士の話だと思うが、生徒と先生間に問題があった場合にも対策を取ってほしい。(村松委員)
- ・生徒に対して、教員からのいじめや暴力に関するアンケートを、教員を介さず教育委員会が直接取るようになっている。(校長)
- ・生徒が主体的にいじめをなくそうとしていることは良いこと。(村松委員)
- ・生徒同士で指摘し合いクラスを良くしていく、そういうクラスづくりはいいと思う。生徒同士だと素直になれると思う。(高井委員)

(3) 学校運営協議会の自己目標について

前年度末に決めた来年度目標を、今年度の目標とすることで、委員全員の承認を得た。

また、「地域人材・地域資源の活用」「学校運営に必要な支援」について、各学年主任から別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

【1学年】

- ・学校運営協議会で報告する授業内容に関しては、先生方には地域人材を活用するつもりで話をしてほしい。その方が梅田さんにも協力してもらいやすい。(高井委員)
- ・1クラスの人数が多いので、講師と生徒の人数の割り振りについて、また相談してほしい。(杉本委員)
- ・授業とは違うので、少人数で活動する方が良いと思う。(高井委員)

【2学年】

- ・職業講話は、昨年度の9月よりも早い時期の6月頃をお願いしたい。(飯田2学年主任)
- ・職業講話の時期を早めるならば、すぐにでも地域の方々にご協力をお願いをする必要がある。(学校支援コーディネーター 梅田)

- ・ 昨年は講師としてご協力いただいた方が多く、大変有難かったが、今年度は教室数等の関係もあり、講師の方の人数を減らして実施したい。(飯田 2 学年主任)

【3 学年】

- ・ 起震車体験をしていない生徒は、その時間はどうしているのか。(高井委員)
- ・ 教室で別の防災講座を受ける予定。(野田 3 学年主任)

【大樹学級】

- ・ 学区内で、発達学級に理解のある職場があれば職場体験をお願いしたい。(中井大樹学級主任)
- ・ 大樹に合う職場を探したが、校区内ではなかなか見つからない。田植え体験はどうか。(高井委員)
- ・ ヨガ体験は、4 月から川島さんにお越しいただき実施している。(中井大樹学級主任)

【その他】

- ・ ゆかた着付け体験について、今年度もゆかたはボランティアの方からお借りし、全員が授業内で着付け体験をする。(野田 3 学年主任)
- ・ 生徒全員分のゆかたを用意し、ゆかたで授業を受けたり日中過ごしたりする体験はどうだろうか。(高井委員)

(4) 夢育やらまいか事業 (CS 加算分) に対する意見書について

議長の指示により、川合教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業について説明があり、内容について委員の方々にご理解いただいた。

その他報告事項等

- ・ 秋月校長から、9 月以降の部活動の地域移行について説明があった。
- ・ 川合教頭から、次回会議は、2026 年 6 月 30 日 (火) 午後 2 時から会議室で開催する旨の連絡があった。また、臨時会議として 8 月 6 日 (木) 15 時から各学年 20 分の時間を取り、職員と話す時間を設ける。